

# 【Qubed】簡易マニュアル

Ver 1.0

2010年11月12日

株式会社クライム

## 目 次

1. はじめに.....	2
1.1. 本ドキュメントについて.....	2
1.1.1. 範囲.....	2
1.1.2. 対象バージョン.....	2
1.2. 更新履歴.....	2
2. 簡易マニュアル.....	3
2.1. 使用方法.....	3

# 1. はじめに

## 1.1. 本ドキュメントについて

### 1.1.1. 範囲

本ドキュメントは、Qubed の簡単な使用方法について記載しております。

### 1.1.2. 対象バージョン

本ドキュメントは、Qubed の下記バージョンを対象としております。

- Qubed 1.2

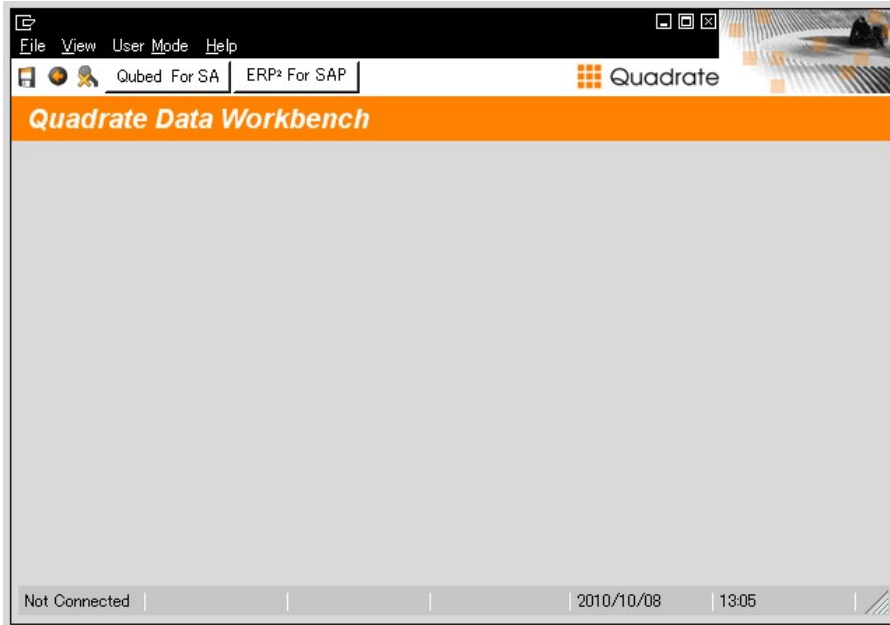
## 1.2. 更新履歴

版	修正日	修正者	内容
1.0	2010/11/12(金)	S.F	初版

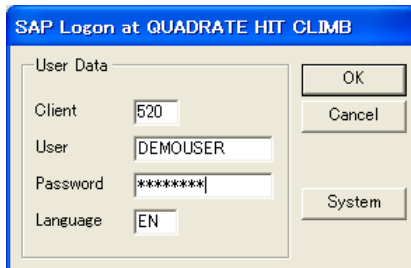
## 2. 簡易マニュアル

### 2.1. 使用方法

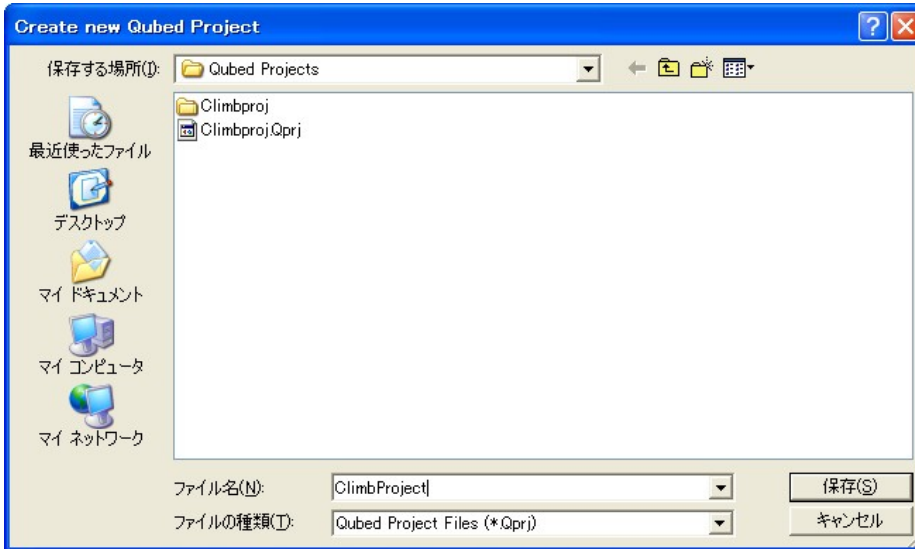
1: Windows スタートメニューより Qubed を起動します。  
その後下記ウィザードが起動しますので、「Qubed For SAP」ボタンを押下します。



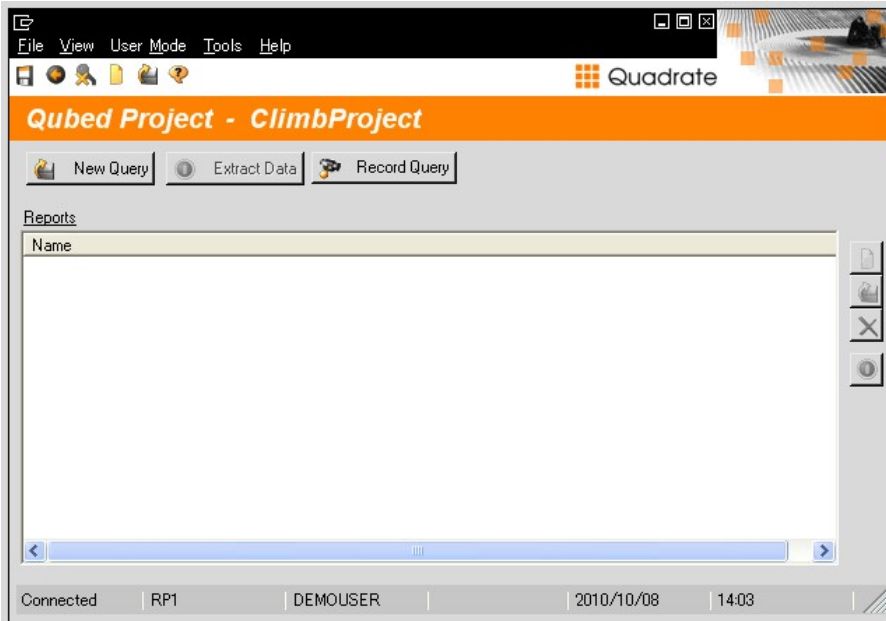
2. ログインダイアログが表示されますので、必要な情報を入力し、OK を押下します。



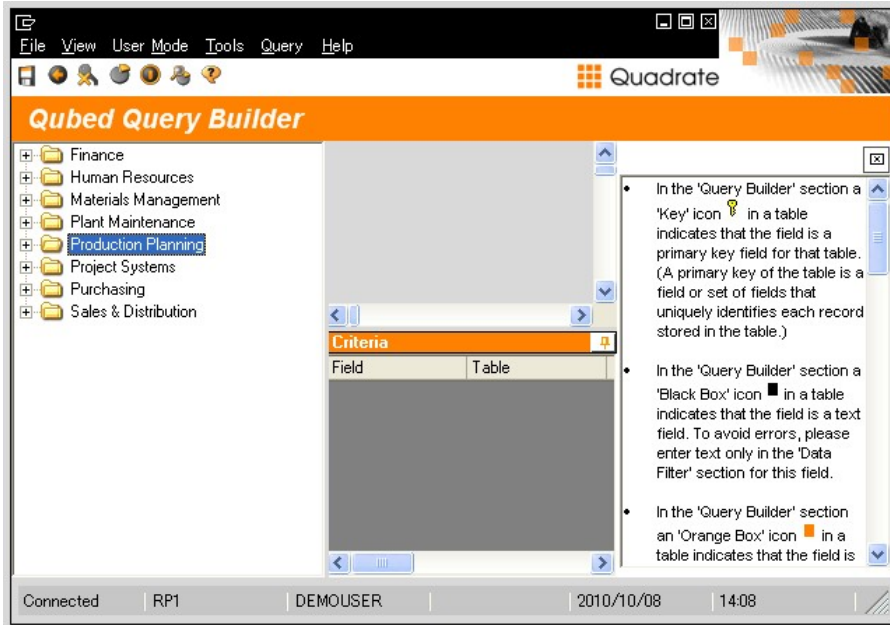
3. プロジェクト名を決め、保存します。



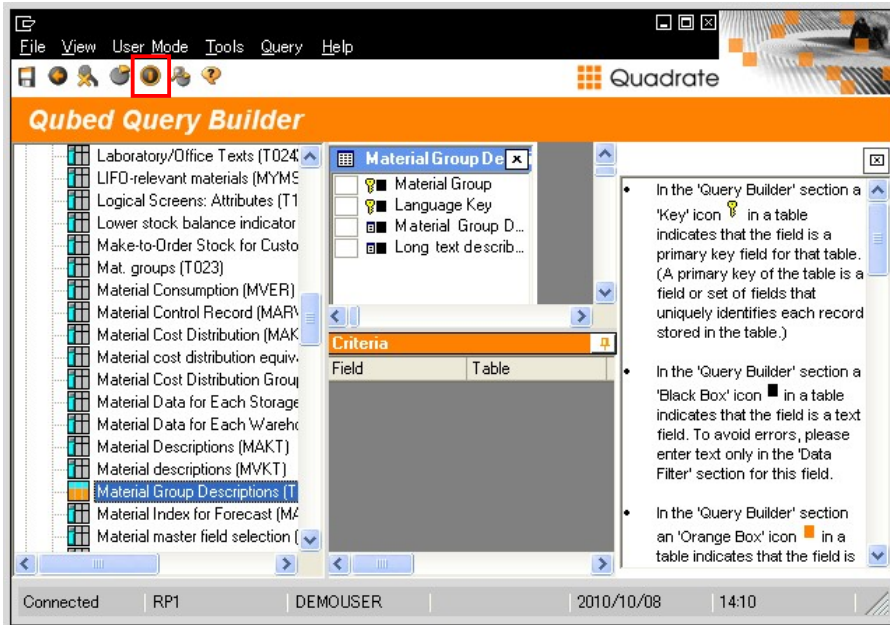
4. Qubed のコンソール画面にて「New Query」ボタンを押下します。

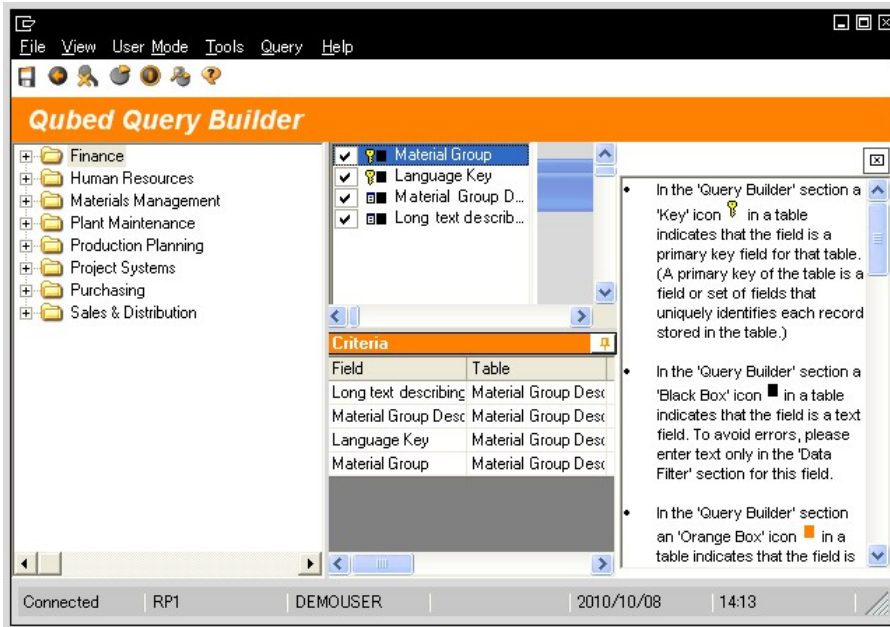


5. データベースを選択し、左ツリーからテーブルを選択します。

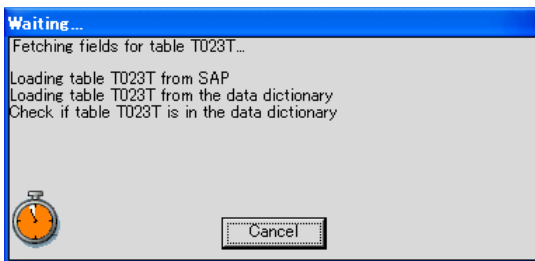


6. テーブルをダブルクリックし、必要なフィールドをチェックします。下記赤枠の「Extract」ボタンを押下し、クエリを実行します。

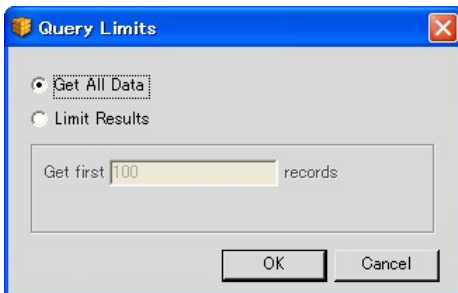




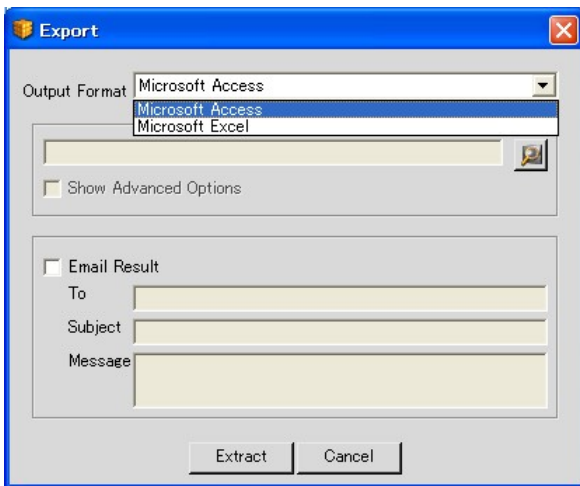
7. テーブルのレコードを取得するまで待ちます。



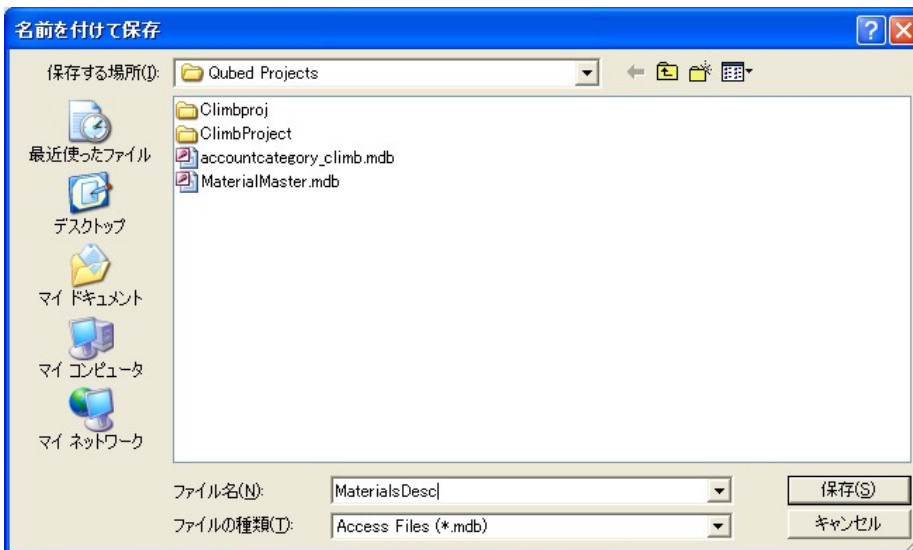
8. レコードを全件取得するか、指定の数だけ取得するか選択し、OK を押下します。



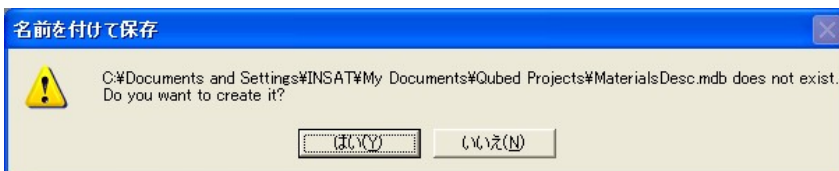
9: データの抽出を Access 形式にするか Excel 形式にするか選択します。また、「Email Result」にチェックを入れることで、Eメール配信も可能です。



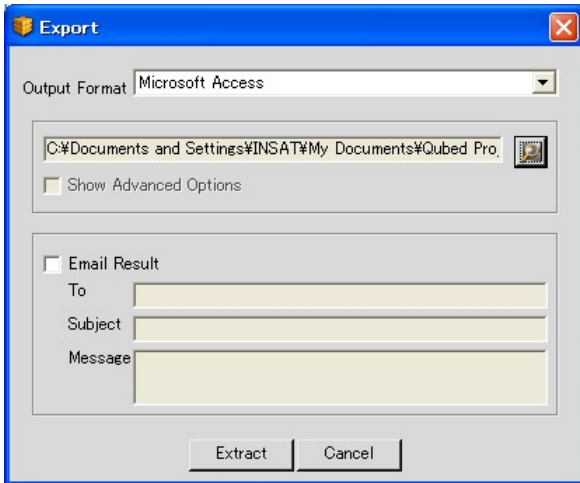
10. ファイル名を設定し、保存します。下記は Access 形式で抽出した場合の例です。



11. 「はい」を押下します。(初回保存時に表示されます)



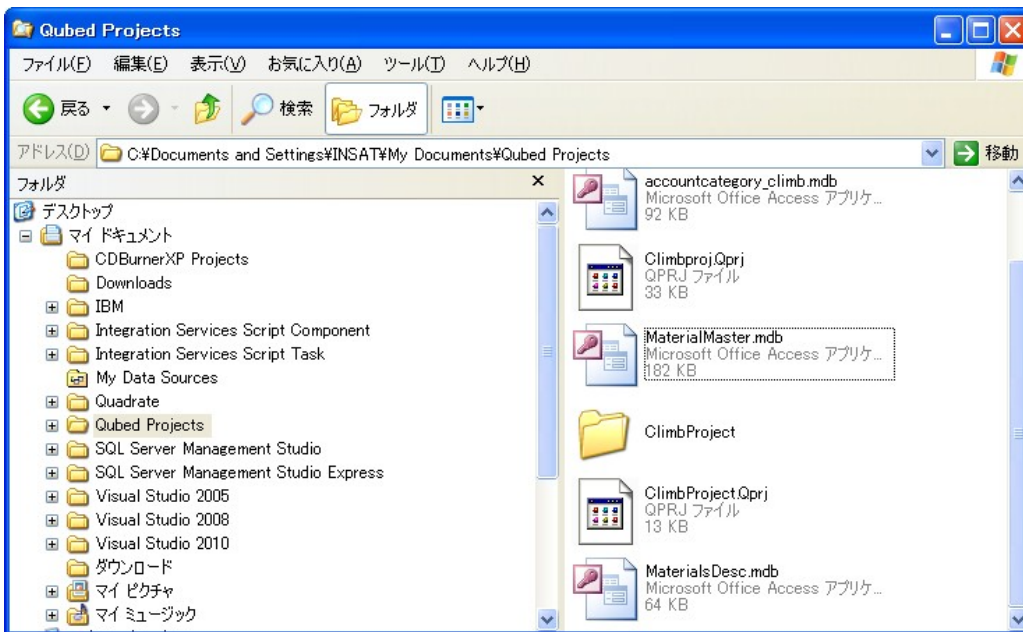
12. データの保存先のパスが設定されますので、「Extract」を押下します。



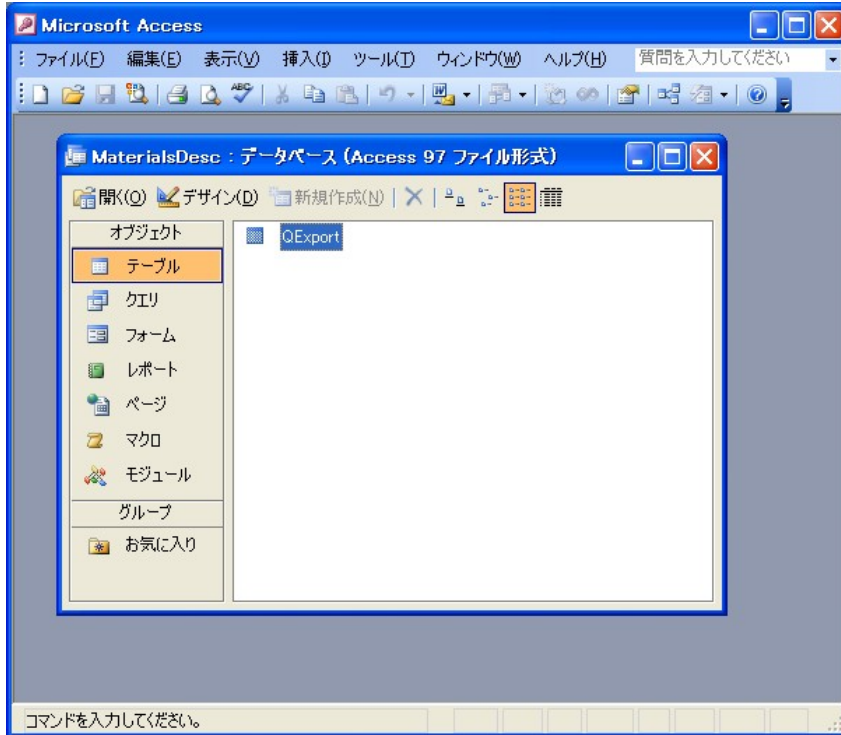
13. データの抽出に成功すると下記ダイアログが表示されます。



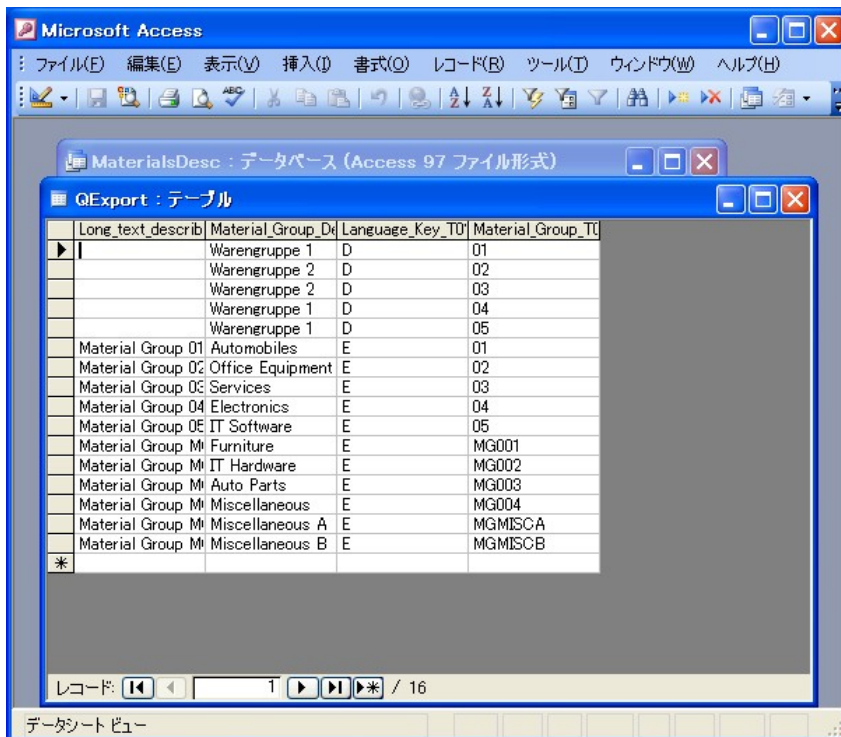
14. 抽出した Access ファイルをクリックして確認してみます。



15. テーブルをダブルクリックします。



16. データを確認し、SAP データと同じであることを確認します。



今回は Access での手順を記載しておりますが、Excel への抽出の場合でも同様の手順で可能です。